

地域脱炭素フォーラム（名古屋開催）



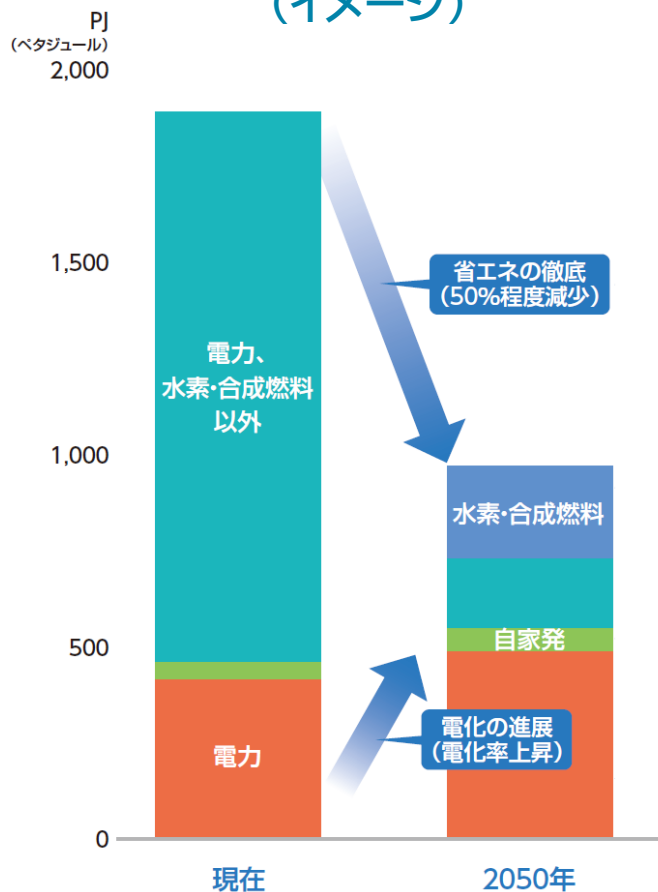
中部電力ミライズ

中部電力グループの地域脱炭素社会に向けた取り組み

2025年10月18日

中部電力ミライズ株式会社

中部地域の最終エネルギー消費量 (イメージ)



※中部電力グループ経営ビジョン2.0より

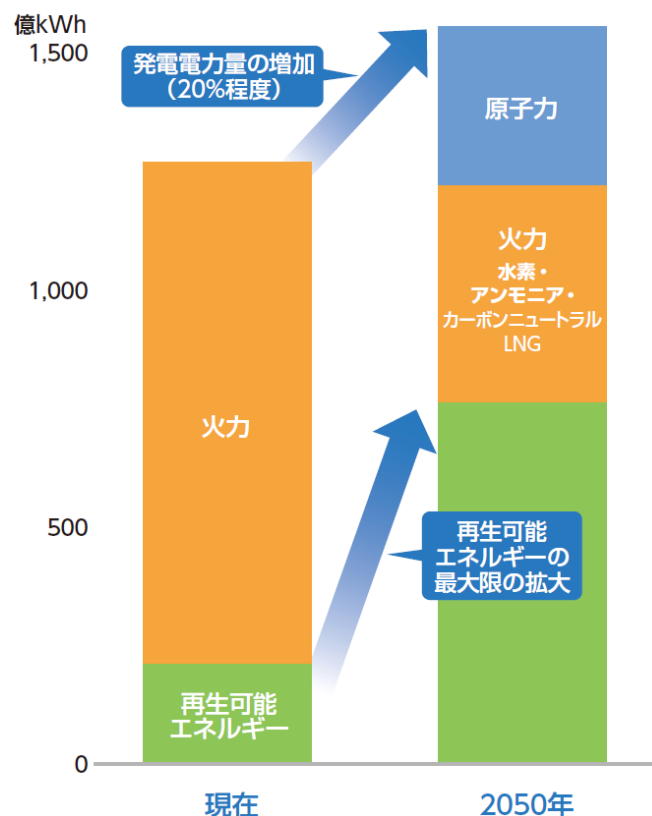
まずは定量的に把握する

- ① 省エネの徹底
利用効率の改善、ロスの削減
使うヒトの使い方の変革
- ② CO₂を出さない燃料への転換
(その結果、電化率の上昇 ↓)
- ③ CO₂を出さない電気への転換

エネルギーを提供する側でできること

■ 例：電力の場合

中部地域の発電電力量 (イメージ)



※中部電力グループ経営ビジョン2.0より

「CO2を出さない発電」へのシフト

- ① 再エネ発電の最大限の活用拡大
- ② CO2を出さない火力燃料の拡大
- ③ 原子力発電の活用(安心安全な)

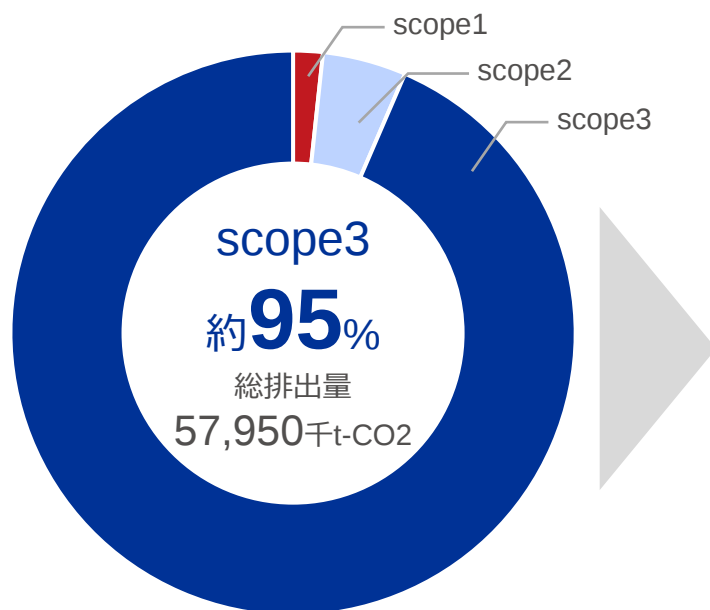
「電力系統（グリッド）」の高度化によるロスの削減

- ④ 地産地消、再エネ抑制の最小化

(ご参考) 中部電力3社の排出量と削減の取組み

- 中部電力3社の2023年度排出量 中部電力株式会社、中部電力ミライズ株式会社、中部電力パワーグリッド株式会社
 - Scope1 : 55千t-CO₂ 送配電設備のうちSF6ガスを使用する機器や社有車など。
 - Scope2 : 2,820千t-CO₂ 送配電設備にて発生する電力ロスによるもの（マーケット基準）。
 - Scope3 : 55,075千t-CO₂ エネルギーの調達(=カテゴリ3)と**販売したエネルギーの使用(=カテゴリ11)**によるもの。
- 2050年ネットゼロを目指し、2030年までにお客さまへ販売する電気由来のCO₂排出量を50%削減(2013年度比)する目標。

中部電力3社の排出量(2023年度)

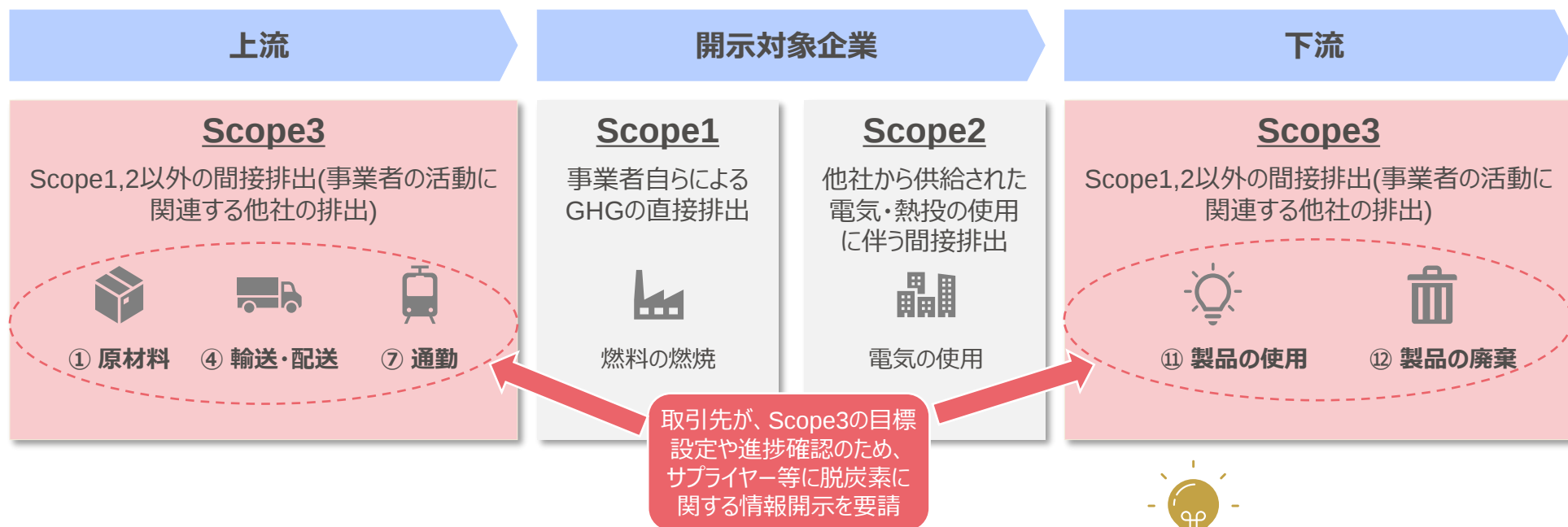


scopeごとの削減策

scope	主な削減策
scope 1	- EV自動車導入 - SF6ガス代替機器導入
scope 2	電力ロス率の低減
scope 3 (主にカテゴリ3,11)	- 非化石エネルギーの最大活用(=調達するエネルギーの非化石化) - 再エネ由来の電力供給及び再エネ電源の開発 - お客さまとともに取り組む、エネルギー消費の効率化(省エネ)・電化 - 水素・アンモニアを活用した次世代技術の活用等による化石燃料の脱炭素化 - 高度化法対応を含めた、非化石証書等によるCO₂排出量の減算

CO₂排出量の見える化：サプライチェーン全体で！

- サプライチェーン排出量は、貴社自らが排出している直接排出(scope1)に加えて、電気・熱等の他社から供給を受けた間接排出(scope2)、更にサプライヤーからの原材料調達や輸送、サプライヤーによる製造、ユーザーへの販売・廃棄など、「事業活動における一連の流れ(サプライチェーン)から発生する排出量」のことです。
- 国際標準のGHGプロトコルによる考え方である「サプライチェーン排出量」は、Scope1～3に分類されており、更にScope3は15のカテゴリに再分類されています。



SSBJ基準(2025.3公表)
サステナビリティ情報の開示義務化
最速で**2027年3月期**よりスタート?!

各企業のみなさまにとって、GHG排出量の「見える化」と「適正なマネジメント」に取り組む
基礎知識となる 炭素会計アドバイザー資格 も有効です

炭素会計アドバイザー資格（HPリンク：炭素会計アドバイザー協会）

- カーボンニュートラルを推進するにあたり、GHG排出量を「いかに減らすか」と同じくらい重要となる「いかに測るか」の基準の1つとなることを目的に創設した、国内初の民間資格（環境省の認定取得済み）
- 企業の皆様だけではなく、大学生や自治体職員、一般の方も受講・資格取得が可能。現在までに、3級資格は約3万人が講習を受講、約2万人が炭素会計アドバイザーの資格を取得されています。
- 気候変動に関する国際的なNGO一般社団法人CDP Worldwide-Japanの認定パートナー（ASP）である、一般社団法人炭素会計アドバイザー協会が運営。経済産業省、中部経済連合会、中部経済同友会、名古屋商工会議所に後援いただいています。



資格制度の概要

国際環境NGOの最新状況を反映した研修等を通じて段階的にレベルアップ

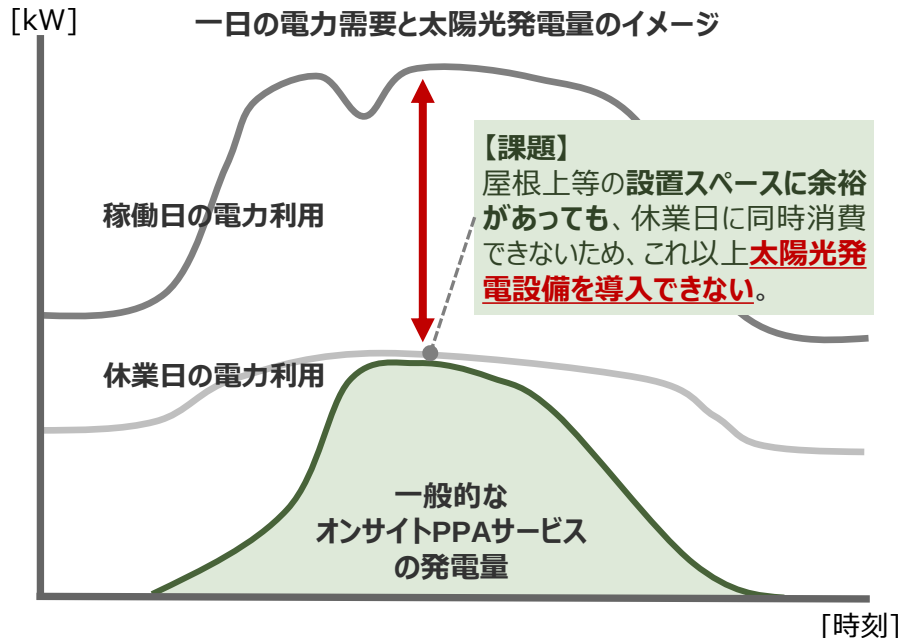
資格区分	資格区分の要件／レベル
3 級	- 脱炭素を巡る国内外の情勢について理解している。 - カーボンアカウンティングのサイクルについて理解している。 - 国際ルールを重視したScope1,2,3算定の考え方を理解している。 環境省認定制度 脱炭素アドバイザー ベーシック認定
2 級	- 脱炭素の経営上の重要性（リスク・機会）を理解している。 - 国際ルールに沿ったScope1,2,3排出量算定方法を理解している。 - SBTの概要等について理解している。 - GHG排出量の削減手法を理解している。 環境省認定制度 脱炭素アドバイザー アドバンス認定
1 級	- 脱炭素経営について、包括的なアドバイスが出来る。 - SBTの認定要件を理解している。 - GHG排出量計測方法や削減手法の例示が出来る。 - 排出コストの低減と移行措置コストの考え方を理解している。
Professional	- 気候移行計画の概要について理解している。 - 環境価値（グリーン、ブルーカーボン等）の利用・創出を理解している。 - FLAG、TNFD、SDGs等の新たな概念について理解している。 - CDP質問書を活用した情報開示について理解している。 - カーボンニュートラル認証について理解している。

- ▶ 欧米の国際環境NGOを中心とするカーボンニュートラルの国際基準を踏まえ、CDPの国内唯一の気候変動コンサルティング&SBTパートナーの知見と研修コンテンツを本資格制度に反映
- ▶ 資格取得者には、最新情報の定期的な講習やアップデートが必要なため、「取り切り」ではなく、更新が必要な資格制度としています。

民間企業の連携による再エネ最大活用の取組み

みんなで 脱炭素 PROJECT

～やらまいか脱炭素！
企業の枠を超えた
「遠州脱炭素プロジェクト」～



■ 静岡県の遠州地域に拠点を持つ計15社のお客さまと協定を締結いたしました。

<参画企業の皆さま（50音順）>

株式会社アイゼン	イオインダストリー株式会社	株式会社遠州	株式会社キャタラー	株式会社クラベ
コーケン工業株式会社	株式会社コーリツ	古山精機株式会社	スズキ株式会社	株式会社ソミック石川
DOWAメタニクス株式会社	浜松ホトニクス株式会社	ヤマハ株式会社	ヤマハ発動機株式会社	ローム浜松株式会社

AIZEN

IO INDUSTRY CO.,LTD.

株式会社 遠州
ENSHU CO.,LTD.

熱帯で地球とクルマをつなぐ
CATALER

KURABE

KOKEN

KORITU

KOYAMA

SUZUKI

ソミック石川

DOWAメタニクス株式会社

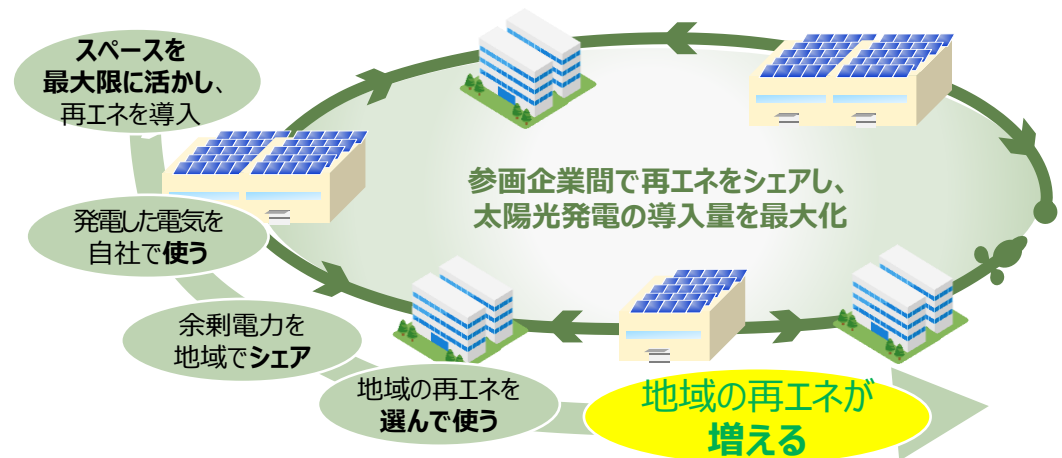
HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

YAMAHA
Make Waves

YAMAHA

ROHM
SEMICONDUCTOR

<プロジェクトのスキーム>



浅間ゼロカーボンコンソーシアム

- 2050年までにCO₂排出実質ゼロを達成するためには、民間企業や行政などが単独で取組むだけでは、実現は困難であり、地域全体での連携が不可欠です。
- そこで、民間企業や行政などが広域的に一体となって取り組むことができるプラットフォームとして、本コンソーシアムを設立しました。

ゼロカーボンコンソーシアムの活動

- ① エネルギー需要と再生可能エネルギー供給の受給マッチングプラットフォームを構築する取組み
- ② ゼロカーボンに向けた各種事業への取組み
- ③ 事業の継続性(経済的メリット)を確保する仕組みづくりの検討・実施
- ④ その他、ゼロカーボンの達成に資する事業

2050年までに
ゼロカーボンを達成する



会員(発起人)※五十音順

(企業)

・カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
・しなの鉄道株式会社
・株式会社西武ホールディングス
・中部電力ミライズ株式会社
・長野トヨタ自動車株式会社
・東日本旅客鉄道株式会社
・ヤマト運輸株式会社

(自治体)

・軽井沢町
・立科町長
・御代田町長

ゼロエミチャレンジなごや

- 脱炭素社会の実現に向け、名古屋市と中部電力ミライズで連携・協力し、**再生可能エネルギーの効果的な利用及び普及拡大に向けた市民参加型の取り組み「ゼロエミチャレンジなごや」**を開始
- 再エネの発電量の変動に対応し、電気の安定供給に資する新たな仕組みを構築するため、**市民を対象にした実証実験を名古屋市と協働実施（2021年11月～2023年1月）**
- 実証結果を活かして、2022年7月行動誘因型DRサービス「**NACHARGE**」を、2023年9月機器制御型DRサービス「**NACHARGE Link**」をリリース



中部電力ミライズからの依頼メールを受けて、「節電」や「電気の使用時間の変更」など、お客さま自身に電気の使い方を工夫していただきます。



蓄電池制御を中部電力ミライズにお任せいただくことで、お客さまはアクションを実施することなくDRに参加し、再エネの活用に最大限貢献できます。



※行動誘因型DRと比較し、より手軽にDRに参加でき、DR実績量に応じたポイントを獲得できます。
※DR依頼はメールにて充放電制御当日までに通知し、オプトアウト（制御拒否）を受け付けます。

(参考) 企業向け 省エネ・活エネ・創エネサービス例

脱炭素コンサルティング

CO2排出量の見える化、ロードマップ策定
および実現、環境目標・環境情報の開示に
関する取組みをサポート

Scope 算定
情報開示



GXコンサルティング



Scope1 削減

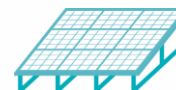
Scope2 削減

エネルギーコスト削減

最適な設備容量の選定等の
基本構想から支援し、
投資効率の高いカーボン
ニュートラル工場を実現

創エネ

オンサイト PPA (自家消費)



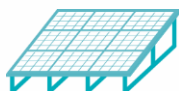
Scope2 削減

エネルギーコスト削減

初期費用¥0にて、構内
に太陽光パネルを設置し、
再エネ電気を供給

創エネ

オフサイト PPA



初期費用¥0にて、敷地外
に太陽光パネルを設置し、
再エネ電気を供給

Scope2 削減

活エネ

CO2フリー電気

地球にやさしく、未来をあかるく。



Scope2 削減

地域貢献 PR

中部電力グループが保有
する電源等を活用すること
で、実質的にCO2フリー
化が可能

活エネ

海外グリーン電力証書



Scope2 削減

海外事業所のCO2排出量削
減に向けて、I-REC等の環
境価値を有する証書を活用

活エネ

法人向け EV 充電サービス



初期費用¥0にて、EV充電
設備を設置

Scope3 削減

活エネ

DR(デマンドレスポンス)



エネルギーコスト削減

電気需要最適化

お客さまのエネルギー
リソースをDRに活用
社会的・経済的メリットの
ご提供が可能

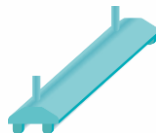
<お問い合わせはこちら>

法人カスタマーセンター：0120-210-035 ※9時～17時（土曜・日曜、年末年始、祝日は除く）

(参考) 企業向け 省エネ・活エネ・創エネサービス例

省エネ

照明設備のLED化



機器選定から設備導入まで
ワンストップサービスで
蛍光灯や水銀灯のLED化の
推進を支援

Scope2 削減
エネルギーコスト削減

省エネ

熱源機・空調設備の更新



大きなエネルギー使用を
占める熱源・空調に関わる
運用改善から設備導入まで
をトータルサポート

Scope1 削減
Scope2 削減
エネルギーコスト削減

省エネ

ボイラ・蒸気系統の省エネ・電化

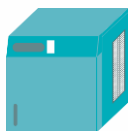


ガス、重油等の燃料の
使用量削減、電化の推進を
サポート

Scope1 削減
Scope2 削減
エネルギーコスト削減

省エネ

コンプレッサの最適運用



幅広い工程で使用される
圧縮空気の運用改善から
台数制御盤の導入まで
トータルサポート

Scope1 削減
Scope2 削減
エネルギーコスト削減

省エネ

クラウド見える化



遠隔管理による省力化や、
月報に用いるデータ管理等、
お客様の利用目的に合わ
せた可視化ツールをご提供

Scope1 削減
Scope2 削減
エネルギーコスト削減

省力化

画像解析による自動化



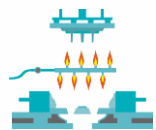
人が目で見えて判断している工
程（検査・監視・点検等）に
対して、画像解析によりお客
さまにとって最適な自動化を
実現

時間短縮
品質向上
働き方改革

開発一体型

省エネ

熱制御ソリューションサービス



生産工程に最適な電気加熱
装置を開発し、
生産現場の抱える課題を
解決

生産性向上
エネルギーコスト削減
品質向上

開発一体型

省エネ

洗浄ソリューションサービス



クリーンな洗浄技術を用いて
課題解決し、エネルギー低減、
廃棄物低減、溶剤レスを実現

産廃物低減
時間短縮
品質向上

開発一体型

省エネ大賞受賞
の実績があります！

省エネ大賞
20件*受賞

※中部電力および中部電力ミライズでの受賞件数

＜お問い合わせは[こちら](#)

法人カスタマーセンター：0120-210-035 ※9時～17時（土曜・日曜、年末年始、祝日は除く）



中部電力ミライズ